

所 属 赤碕町漁業協同組合
氏 名 てらだ ゆうと
寺田 勇斗 (20 歳)
船 名 だいにこうえいまる 第二廣栄丸 4.6 トン
漁業種類 刺網、一本釣り



～なかよし漁師一家の3世代目～

寺田家は、祖父の廣幸さん、父の勇幸さん、そして叔父の幸実さんがみんな漁師、まさにザ・漁師一家だ。そんな環境で育った勇斗さん、小さい頃から祖父の船に乗せてもらい、海に”遊び”に行っていたらしい。船がかっこよかったから漁師になったという。

家族仲が良くていいですねと声をかけると「めっちゃ仲悪いっすよ！」とのことだったが、漁協の職員さんにお話を聞いたところ、「勇斗くんはいつもお父さんと漁に出ているし、お父さんに負担をかけないために力仕事を率先してやっている。お父さんも指導もしつつ、勇斗くんの意見を大事にして仕事任せている。」とのこと。また、取材中、偶然出会ったおじいさんとツーショットをお願いしたところ、照れくさそうに笑う勇斗さんと孫に優しい目線を送る祖父の姿がなんとも微笑ましかった。おじいさん、お父さんとともに頑張っている、実は家族思いで心優しい若手漁師の今後の活躍が楽しみだ。

～やっぱり父は偉大だ～

勇斗さんは二十歳という若さですでに漁師歴 6 年だ。しかも自分の船も持っている。でも、それらはお父さんのサポートがあってこそだ。漁師は経験がないとやっていくのは難しいが、寺田家は幸い漁師一家。魚の習性、漁場のことから機械の使い方まで教えてくれるお父さんには感謝しているという。

(文責：西村 美桜)